

2020年2月3日

USA・Dallasにて

「Viseu ロータリークラブ 名誉会員になった経緯」

2019年5月に私はポルトガルのport市東にあるVISEU市を訪問しました。

5月11日に開催されたVISEU RC 創立85周年記念に招かれたのです。

現在、会長をしているアルペールさんはここ6~7年ほど大曲にある空手道場へ修行に来ています。そのきっかけで我が大曲RCへメイクアップに来て知合いに鳴りました。

そもそもポルトガルは今からおおよそ50年前に「二十歳の記念・世界の一人旅」の目的地だったのです。

私が刈和野小学校(現在の大仙市立西仙北小学校)5年生の時に社会科の授業を指導した平川英一先生(指導主事・故人)が授業で話した「日本は種子島鉄砲伝来(天文12年8月25日:1543年9月23日)で科学立国の道を歩むことが出来たのです。カステラ、ランドセル等の言葉はポルトガル語です。」と聞いて、何故か「ポルトガルに行かなきゃ。」と思ったのです。そして授業が終わってから教員室に平川先生を尋ねて「へんへのエのジュショッコ、オヘデけねが。(先生の住所を教えてください。)」と話して、教えて頂きました。そして学校を終わってから駆け足で家に帰って仏壇からお小使いの5円を握り締めて郵便局へまっ

しぐらでした。ハガキを買って先生の住所を買って「先生、今日は良い話を聞きました。僕はポルトガルに行きたいのでどうすればいいか教えてください。」と書きました。

その日から道草もせずに家で郵便やさんを待ちました。3日後に封書が来ました。そこには「ポルトガルに行く方法」が書かれていました。

- 1、 英語を話すこと。
- 2、 地図と世界時刻表を読むこと。
- 3、 お金を準備すること。

私はそこで決めました。「二十歳になったら実行しよう。」って。それから叔父さんがやってるヤクルトの配達、中学から高校では牛乳配達をしてお金を貯めました。高校2年生の時には「軽快車」を買い自転車で友達2人と「東北一周の旅」をして「旅」の訓練をしました。

高校を卒業して上京後の学生時代は新聞配達や高島屋デパートの配達などをこなして旅費を稼ぎました。

そして遂に1970年12月24日に羽田空港から105日間の世界一人旅に出かけました。

香港〜バンコク〜ボンベイ〜カイロ〜アテネ〜ローマ〜ジュネーブ〜ベルリン〜パリ〜アムステルダム〜ロンドン〜コペンハーゲン〜ワルシャワ〜オスロ